

1. 現況と課題

1-1. 道路網・鉄道網の現況

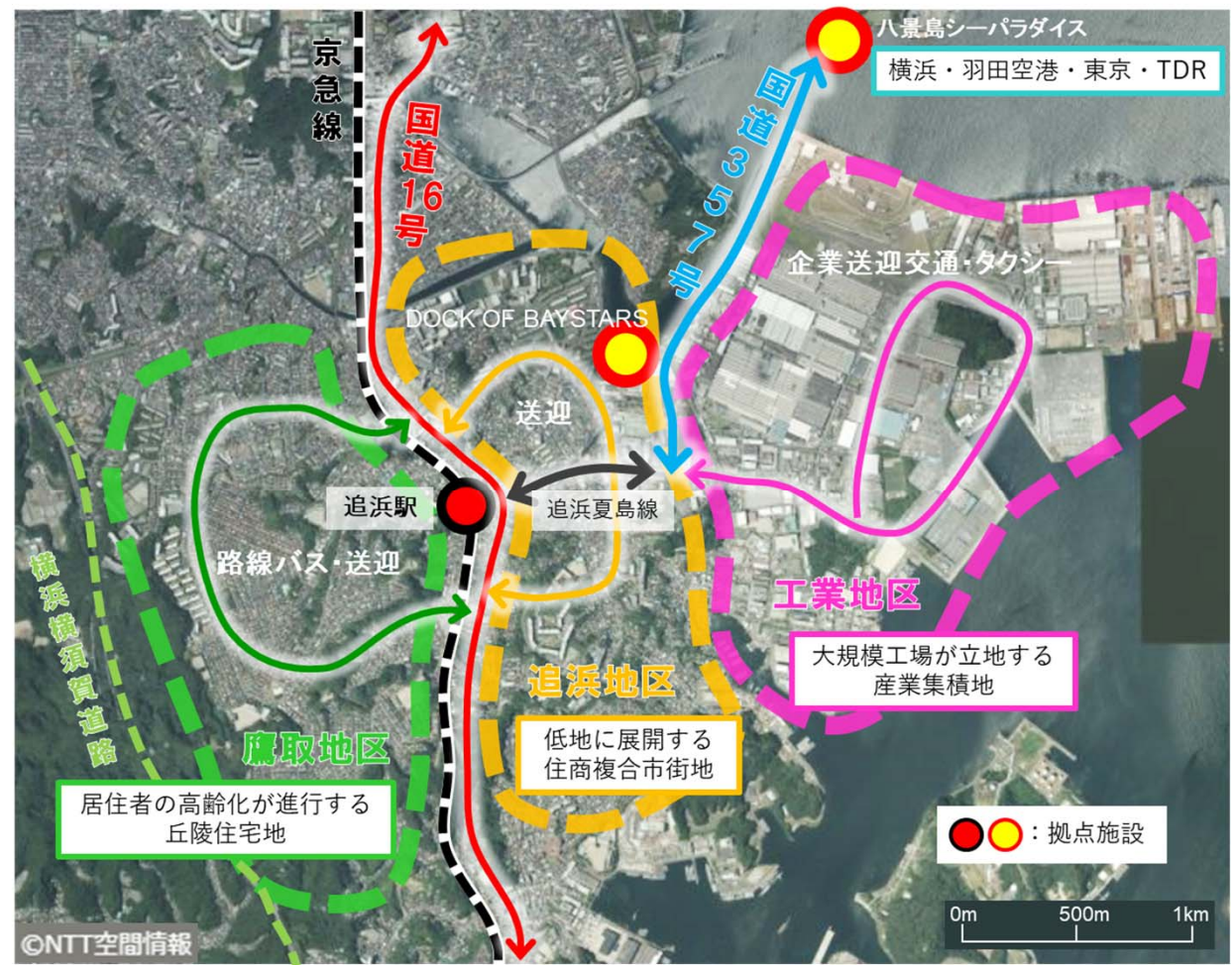
- 追浜駅周辺では、国道16号・357号・京急線が、広域道路網・鉄道網として主要動線になっています。
- 周辺は 鷹取地区・追浜地区・工業地区の各地区で、在住・在勤者や交通の性質が異なる特徴があり、交通結節点となる追浜駅は、それぞれが交流する場所となるポテンシャルをもっています。

< 広域道路網・鉄道網 >

国道16号	南北方向の軸として路線バスや自動車交通の交通動線
国道357号	横浜～羽田空港～東京～TDR等を連携する広域交通動線（事業中）
京急線	東京～横浜～横須賀間を結ぶ鉄道路線

< 各地区の移動・交通の特徴 >

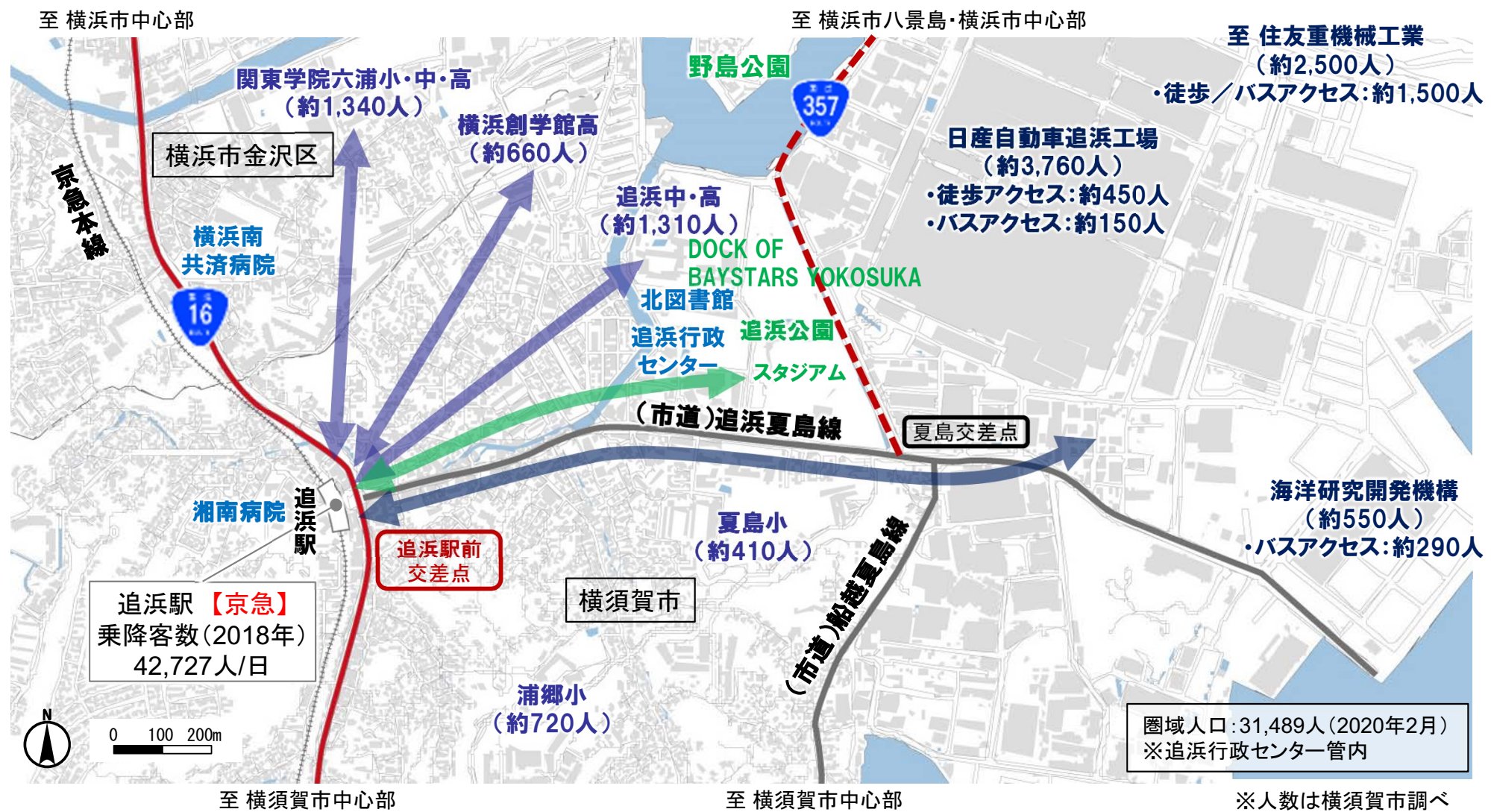
鷹取地区	高齢化が進行する丘陵住宅地が存在し、高低差がある中で限られた路線バスルートのため徒歩や自転車でのアクセスとなっている
追浜地区	低地に展開する住商複合市街地となっており、徒歩・タクシー・路線バス等が活用されている
工業地区	臨海部に集積する大規模工場へ駅から就業者が企業送迎交通により通勤している



1. 現況と課題

1-2. 追浜駅周辺の施設立地状況

○追浜駅周辺には海側に大規模工場、駅の北側に高校が3校が立地し、通勤・通学をはじめとする多くの鉄道利用者が追浜駅を日常的に利用しています。



1. 現況と課題

1-3. スポーツタウン追浜

○追浜駅周辺には横浜DeNAベイスターズや横浜 F・マリノスの施設があり、商店街と連携した様々なイベントが催されています。

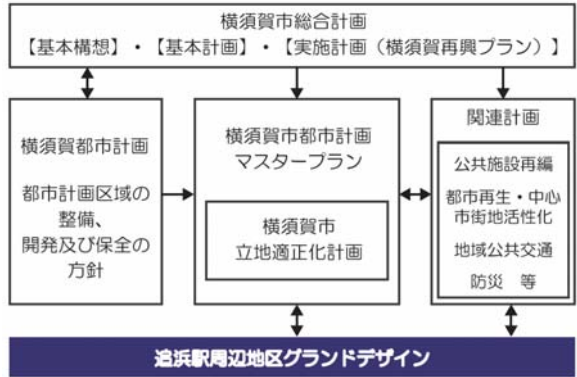


1. 現況と課題

1-4. 上位計画・周辺計画

■ 追浜駅周辺地区グランドデザイン

○横須賀市では本年3月に、追浜駅周辺地区のまちづくり推進のための基本方針となる「追浜駅周辺地区グランドデザイン」を策定予定であり、そうした方針とも整合し検討を進める必要があります。

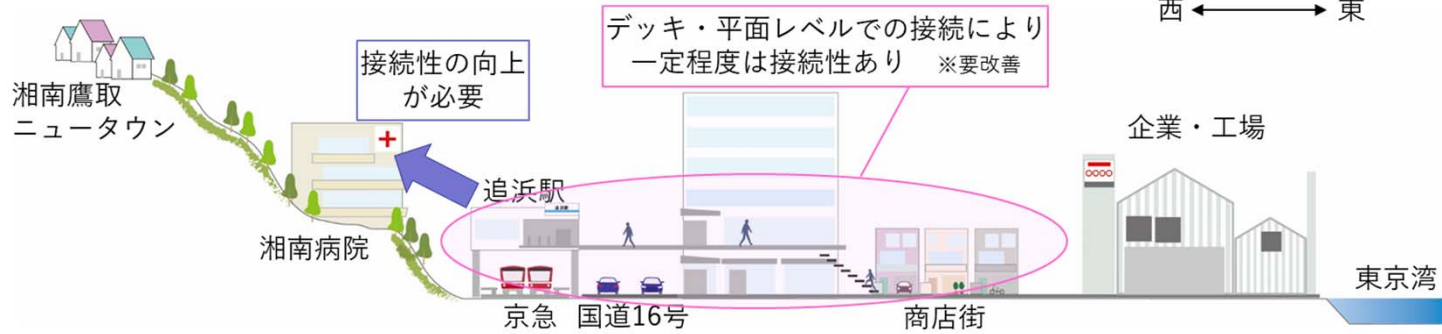
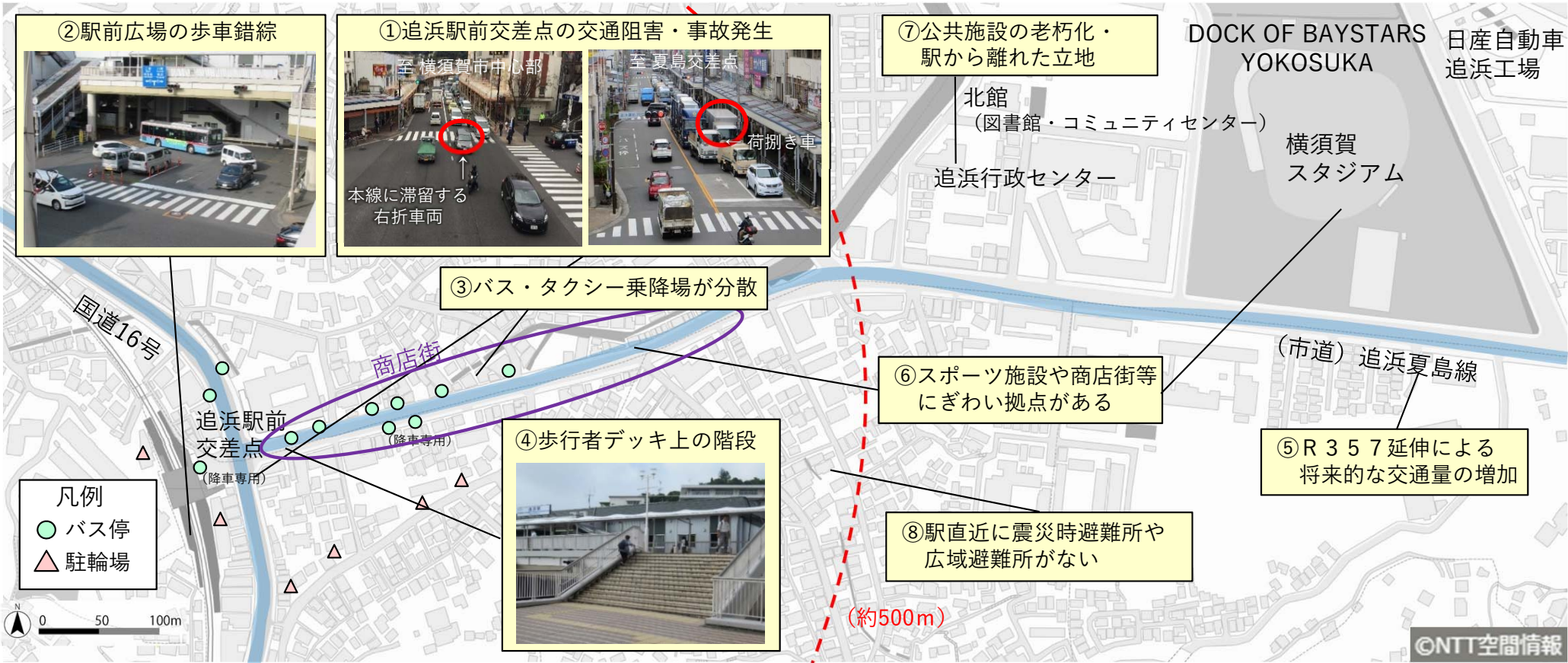


上位計画及び関連計画との関係

1. 現況と課題

1-5. 交通・まちづくりに関する現況と課題

○現況の追浜駅前は、ポテンシャルがある一方で、様々な交通・まちづくり上の課題があります。

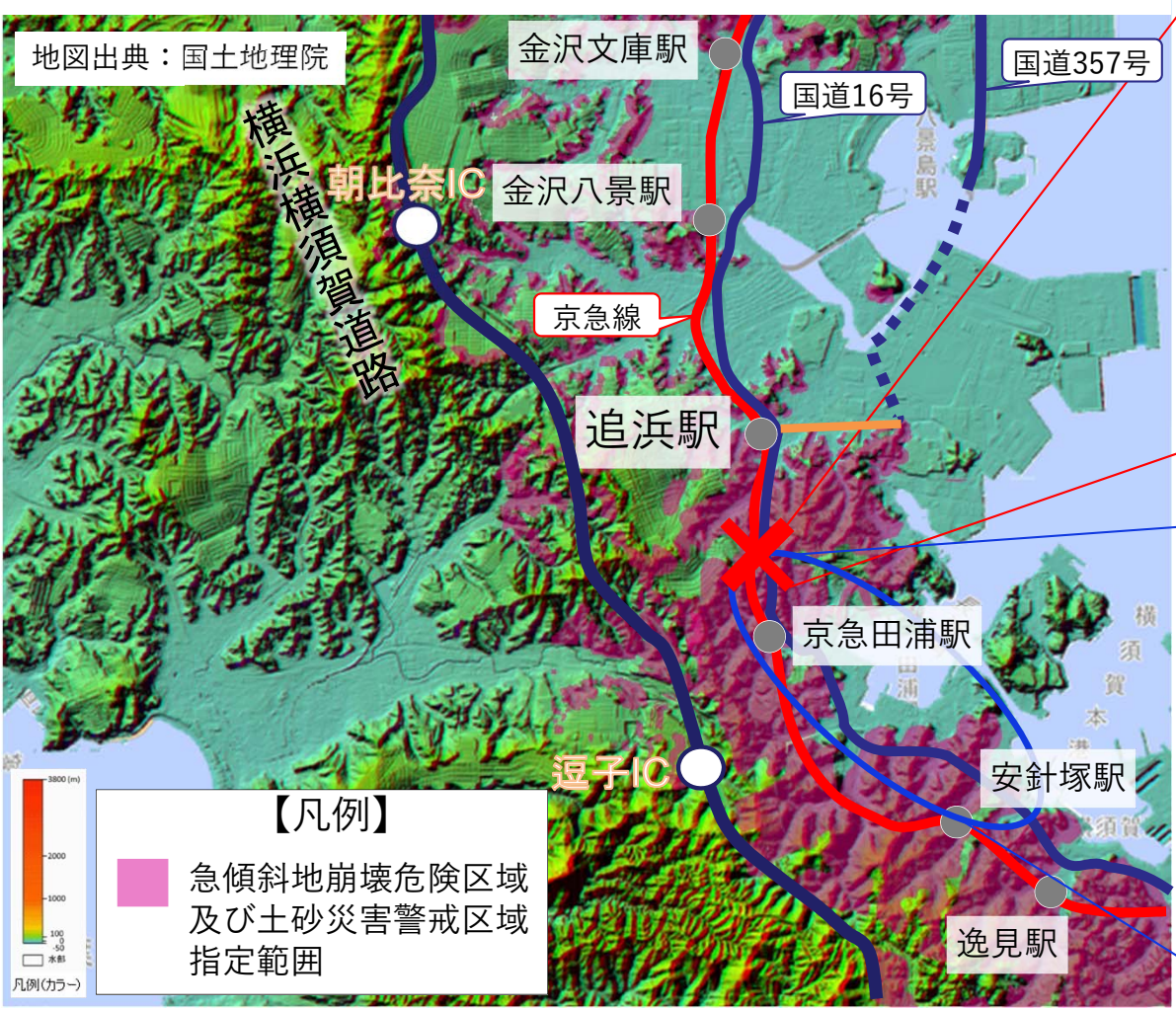


1. 現況と課題

1-6. 防災に関する現況と課題

- 京急線・国道16号の追浜駅以南は急傾斜地が多く、以北に比べ災害発生リスクが高くなっています。
- 過去にも土砂崩れによる京急線運休等が発生したことも踏まえ、南北に並行する国道16号と京急線による相互ネットワークの補完が、地域交通の面だけでなく、広域交通の面でも重要となります。

■追浜駅周辺の地形状況



■2012年の土砂崩れによる京急線運休時の様子



■老朽化したトンネル改修事業（国道16号横須賀地区トンネル改修事業）

- 横須賀市内の国道16号には、供用から40年以上経過したトンネルが多数（16箇所中15箇所）存在し、老朽化が進行
※京急線のトンネル数は同区間で13箇所（追浜駅～横須賀中央駅間）
- 抜本的な対策の必要性が高い4トンネルを対象に、改修整備を行い交通の安全性の確保や円滑化を図るもの



1. 現況と課題

1-7. 追浜駅周辺の利用実態・ニーズ調査結果

- 【調査目的】 利用者目線から現状・課題を抽出するとともに、駅前に求める機能を把握する
- 【調査対象】 直近1年以内に追浜駅を1回以上利用したことのある、満18歳以上の男女
- 【調査方法・時期】 WEBアンケート（R3.1.8～14）
- 【対象エリア・サンプル数】 追浜エリア(N=200)、東京・神奈川県エリア(N=300)

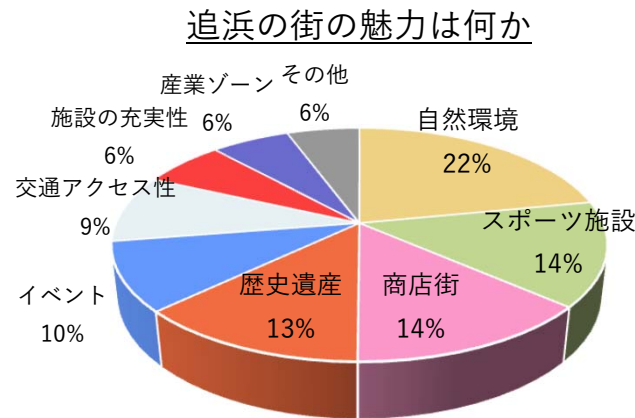
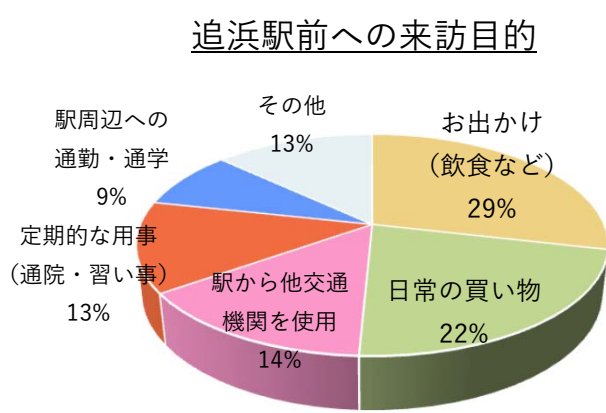
アンケート調査項目

回答者に関する事項	① 性別 ② 職業 ③ 年齢 ④ 自動車の運転頻度
現状の追浜に関するご意見	① 追浜駅への来訪頻度 ② 来訪目的 ③ 来訪手段 ④ 利便性 ⑤ 利用する時間帯 ⑥ 追浜のまちの魅力
追浜駅前にほしい機能	① 駅前の施設に必要な機能 ② 災害時に備えるべき防災機能

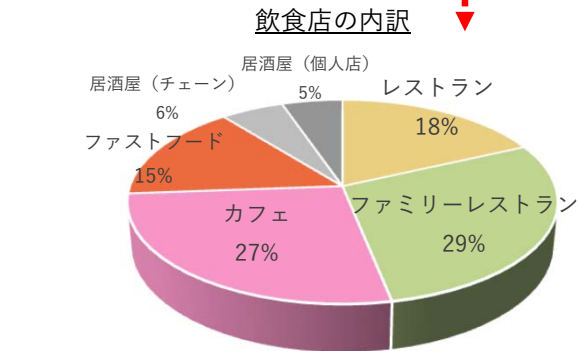
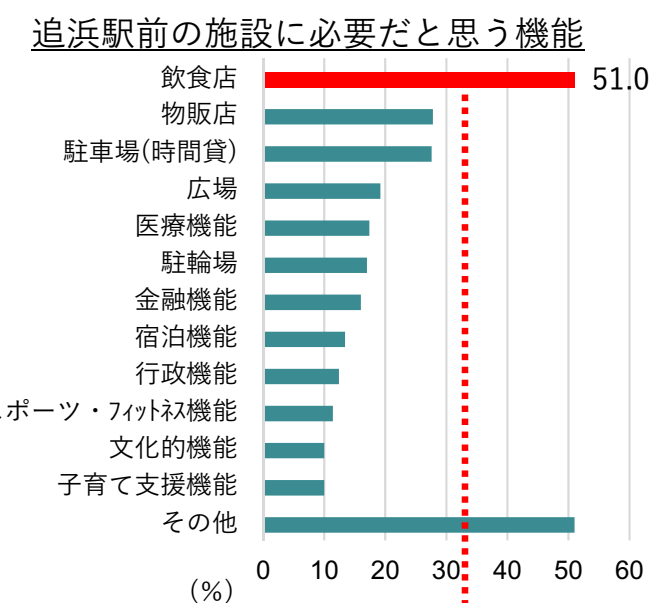
■回答者に関する事項

◆男女比率	男：女 = 7：3
◆職業内訳	会社員 …56.0%
	公務員 … 5.0%
	自営業・自由業 … 6.6%
	専業主婦・主夫 … 7.8%
	学生 … 1.2%
	パート・アルバイト … 9.8%
	無職 …12.2%
	その他 … 1.4%

■現状の追浜駅前に関する意見



■将来の追浜駅前に関する意見

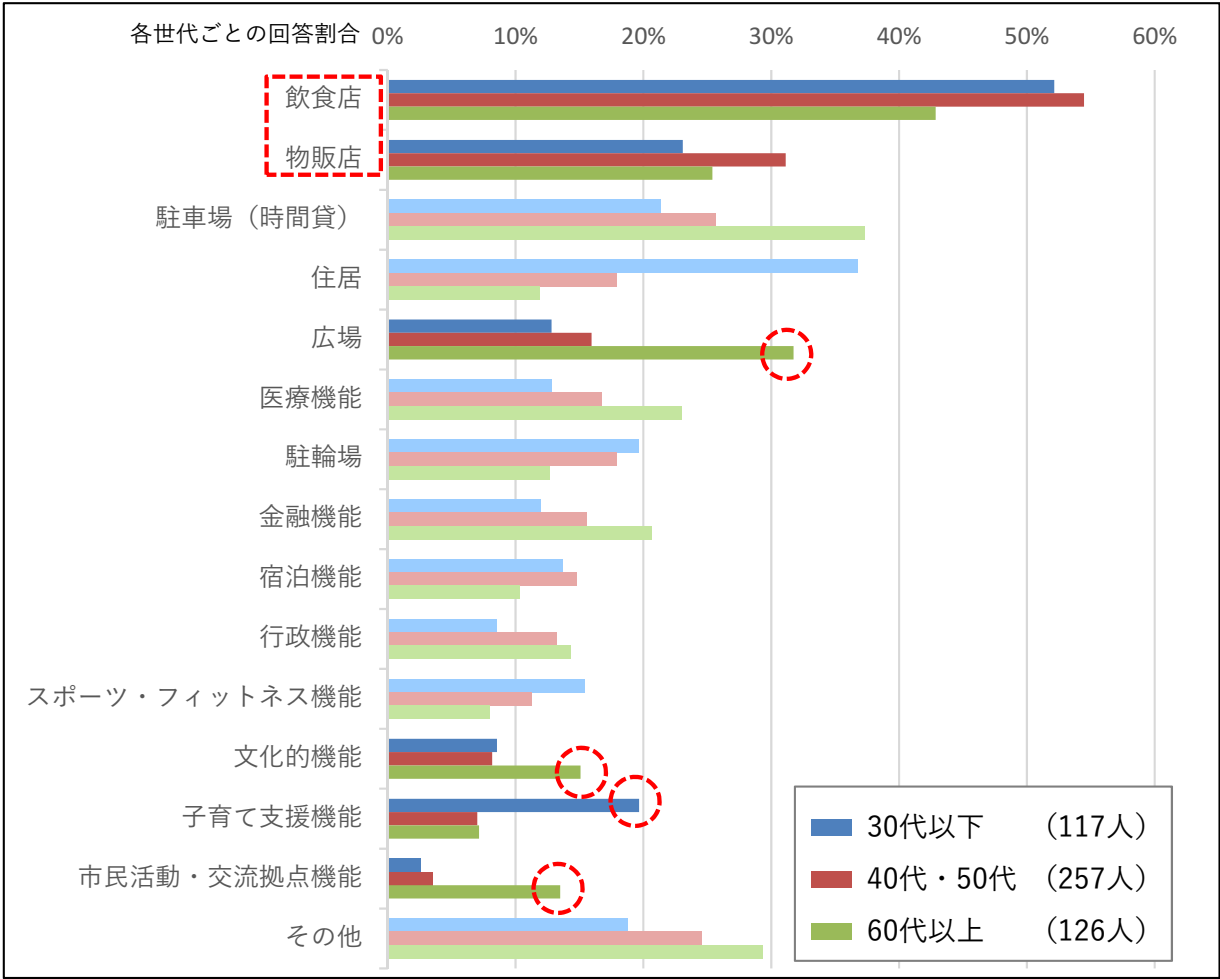


1. 現況と課題

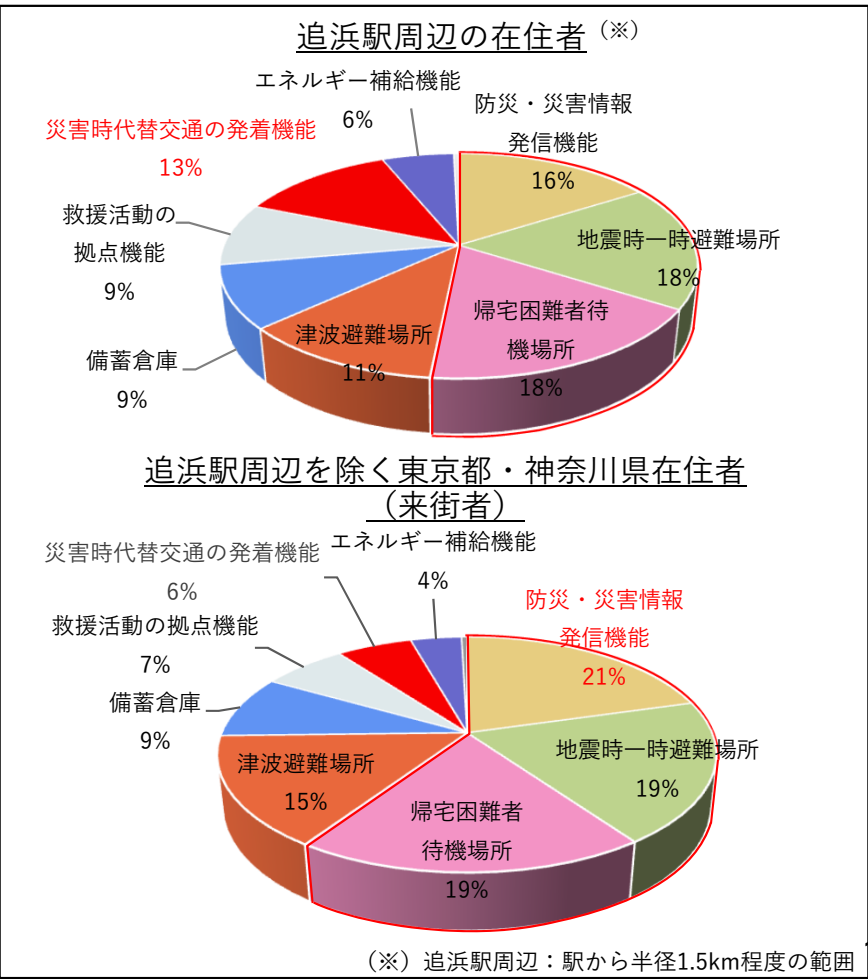
1-7. 追浜駅周辺の利用実態・ニーズ調査結果(クロス集計)

- 追浜駅周辺では、年代に関わらず「飲食店」「物販店」が、子育て世代の30代以下では「子育て支援機能」が多く求められています。
- 一方、60代以上では「広場、文化的機能、市民活動・交流拠点機能」が高い割合で求められている等、高齢者を中心に人々が交流できる空間を求めていることが推察されます。
- 防災機能に関しては、居住地に関わらず「防災・災害情報発信機能、地震時一時避難場所、帰宅困難者待機場所」へのニーズが高く、駅周辺の在住者は「災害時代替交通の発着機能」、来街者は「防災・災害情報発信機能」が比較的高いニーズを示しています。
- 駅利用者のより詳細なニーズ調査や、広域・詳細な交通実態の把握についても、引き続き検討を進めます。

■ 駅前の施設に必要な機能（年齢別分析）



■ 災害時に備えるべき防災機能（居住地別分析）

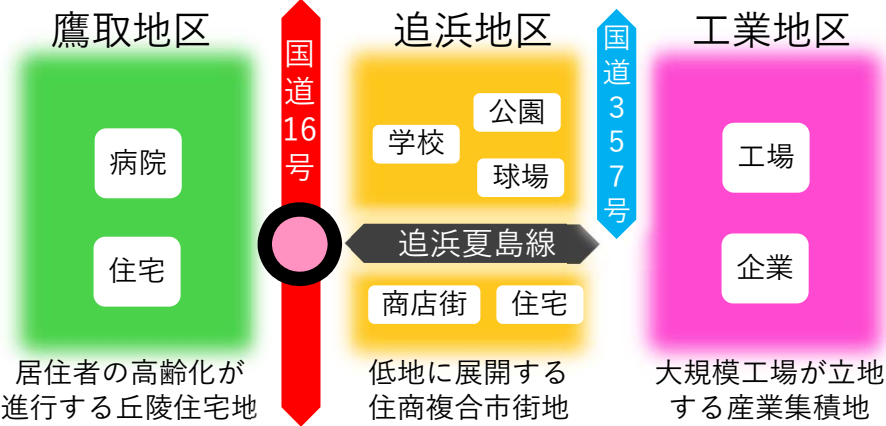


1. 現況と課題

1-8. 追浜のポテンシャルを活かす交流空間

- 追浜駅周辺は、複数の主要動線が重なる交通ネットワークの上に、地域特性の異なる地区が立地しています。
- 追浜を生活圏とする方（月1回以上来訪）では、飲食店や物販店、医療やスポーツなどの生活利便施設が望まれている一方、年に数回程度の来訪者については、広場や宿泊など滞在型の施設を望む声が多くなっており、生活や滞在など様々な機能が望まれていることが分かります。
- 追浜駅周辺に、生活者や来訪者が交流できる空間を創出し、新たな価値創造の場としていきます。

○駅周辺には特色の異なる地区があり、様々な施設が立地



○追浜駅前に望む機能は、生活機能と滞在機能が多い

来訪頻度	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
月1回以上来訪					
週3回以上 (77人)	飲食店 (66.2%)	物販店 (40.3%)	スポーツ機能 (23.4%)	医療機能、時間貸し駐車場 (22.1% 同率4位)	
週1~2回以上 (61人)	飲食店 (37.7%)	物販店 (34.4%)	医療機能、駐輪場 (22.1% 同率3位)		時間貸し駐車場 (23.0%)
月に1回程度 (103人)	飲食店 (48.5%)	物販店 (33.0%)	時間貸し駐車場 (31.1%)	医療機能、駐輪場 (22.3% 同率4位)	
年に数回以下 (259人)	飲食店 (50.6%)	時間貸し駐車場 (29.0%)	広場 (24.3%)	物販店 (20.5%)	宿泊機能 (14.7%)

※この他、30代では子育て支援施設、70代では市民活動拠点や図書館等の文化施設を望む声が多い

